１学年　社会科　ガイダンスシラバス　　教科担当　青木泰山

１．社会科を学ぶねらい

地理　地図や資料等、さまざまな資料を参考にして、日本や世界の諸地域の特色を理し、判断力や思考力を養う。
歴史　歴史上の用語・年代・人物などの知識をもとに、歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し、学ぶことで現在の社会を考察し、未来を築く力を身に付ける。

２．学習方法

地理　教科書、資料集、ワークシート等を利用し、グラフや地図を読み取ることにより、知識を広げるだけでなく、考える力、判断する力を伸ばすことができます。日々の予習や復習、そしてテスト前には復習してテストに臨みましょう。
歴史　歴史の学習で大切なことは、時代の流れをつかむことです。その際には、歴史の重要語句に注目するとよいでしょう。家庭では予習や復習、学習内容を教科書で確認して定着させましょう。

３．持ち物、忘れものなどについて

地理　教科書、ノート、地図帳、ファイル(プリントをとじる)、その他指定されたもの
歴史　教科書、ノート(プリントなどもはる)、資料集、その他指定されたもの

４．学習の評価内容と評価方法

①「知識・技能」
課題を追究したり解決したりする活動を通して、基本的な内容を理解している。
【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシートなど】
②「思考・判断・表現」
時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して歴史上の人物や文化財、出来事などから、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。
【授業での学習活動、定期考査、小テスト、問題集、ワークシートなど】
③「主体的に学習に取り組む態度」
歴史の学習活動を通して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。あきらめず粘り強く学習課題に取り組んでいる。
【授業での学習活動、小テスト、問題集、ワークシートなど】

５．先生からのアドバイス

教科書の学習内容を定着することが大切です。そのためには、日々の予習や復習を意識して学習に取り組みましょう。社会科は他の教科と比べて多くの知識を必要とする科目です。しかし、丸暗記すればよいというものでもなく、一つ一つのことがらの背後にある社会科的な原理・原則を理解することと、大きな流れを理解した上で、重要な知識を身に付けることが大切です。
また、与えられた資料からものごとを判断する力を養うことも重要です。統計や資料・地図などの資料からさまざまなことがらを考える力をつけることが求められてきます。

６．社会科（地理的分野、歴史的分野）　年間学習計画

学期	月	単元名・学習内容	学　習　の　目　標	評価方法
1	4	［歴史的分野］ 原始・古代の日本と世界(前半)	・人類の誕生と、世界各地の諸文明について学ぶ。 ・古墳時代の政治の特色や移り変わり、東アジアの文化の影響について学ぶ。	授業での学習活動 定期考査 問題集 ワークシート 小テスト など
	5	［地理的分野］ 世界と日本の地域構成	・地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを理解する。日本の位置、領域とその特色、都道府県と県庁所在地などを理解する。	
		人々の生活と環境	・世界の人々の生活や環境の多様性について理解する。	
	6 7	［歴史的分野］ 原始・古代の日本と世界(後半)	・飛鳥時代、奈良時代、平安時代の政治の特色や移り変わり、仏教を中心とした文化について学ぶ。	
2	9 10	［地理的分野］ 世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州	・各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それをもとに主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解する。	
	11	［歴史的分野］ 中世の日本と世界(前半)	・鎌倉時代の政治の特色や移り変わり、東アジアとの関わりについて学ぶ。	
	12	［地理的分野］ ・アフリカ州 ・北アメリカ州	・各州の地域的特色を理解する。	
3	1	［歴史的分野］ 中世の日本と世界(後半)	・南北朝時代、室町時代の政治の特色や移り変わり、東アジアなどとの関わりについて学ぶ。	
	2	［地理的分野］ ・南アメリカ州 ・オセアニア州	・各州の地域的特色を理解する。	
	3	［歴史的分野］	・戦国時代、安土・桃山時代の政治の特色や移り変わり、ヨーロッパを中心に世界全体との関わりについて学ぶ。	

		近世の日本と世界（前半）		